

令和8年1月18日（日）15:20～16:50
第13回認知症医療介護推進フォーラム
シンポジウム「認知症の備えの最新動向と
今後の可能性」

認知症の備えを地域で育む — HIRATSUKAモデルの実践 —

医療法人社団彰耀会
メモリーケアクリニック湘南
内門大丈

COI開示 演者 内門 大丈

開示すべきCOI関係にある企業として、

①役員・顧問職：

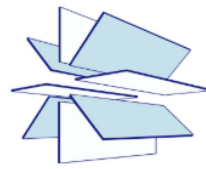
一般社団法人栄樹庵理事、一般社団法人日本音楽医療福祉協会副代表理事、
株式会社メドベース取締役

②株保有・利益：なし

③講演料：

エーザイ株式会社、大塚製薬株式会社、興和株式会社、東和薬品株式会社

④研究費/奨学金寄付金：なし



当院の特徴

- かかりつけ医機能（内科・老年内科）：外来＋在宅医療
常勤：5名（精神科1名）、非常勤：9名（脳神経内科3名・精神科5名）
オンコール対応医師：4名
- 生活習慣病外来、発熱外来、健診機能、オンライン診療などにも対応
- 連携型認知症疾患医療センター：かかりつけ医からの相談
- 認知症初期集中支援チーム：地域からの相談
- 栄樹庵診療所（院長：繁田雅弘）との連携



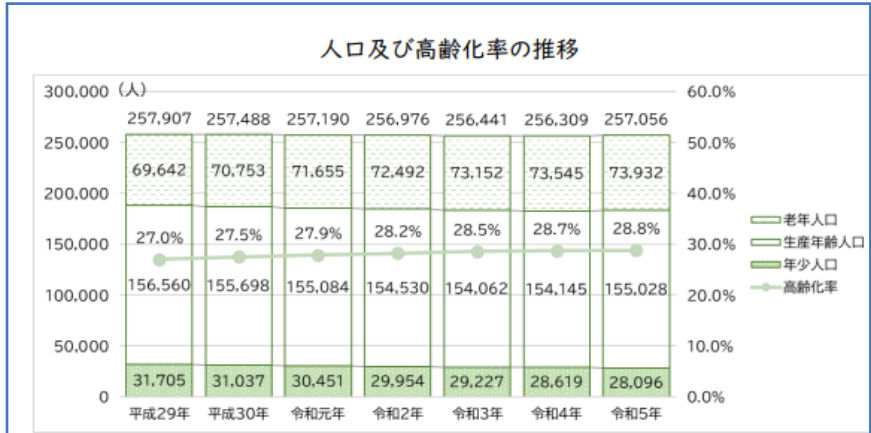
メモリーケアクリニック湘南

- 高齢者の総合診療
- 認知症の早期診断 & 早期治療
- 在宅医療 & オンライン診療

栄樹庵診療所

EIJUAN CLINIC

- 認知症の方だけでなく、そのご家族のお悩みも専門医に相談
- 完全予約制で、自宅のような居心地良い空間でのゆったりとした診療
- 地域連携に携わるスタッフがおり、診療以外の“健全な日々を過ごせる”サポートも可能



※ 住民基本台帳（各年度 10月1日現在、日本人、外国人を含む。）

平塚市 令和5年 高齢化率 28.8%
 老年人口 73,932人

認知症
 $73,932 \times 12.9\%$ （有病率） = 9,537人

MCI
 $73,932 \times 15.4\%$ （有病率） = 11,386人

有病率：厚生労働省の研究班のデータ（2024年5月8日）

神奈川県認知症疾患医療センター

診療体制と行政連携

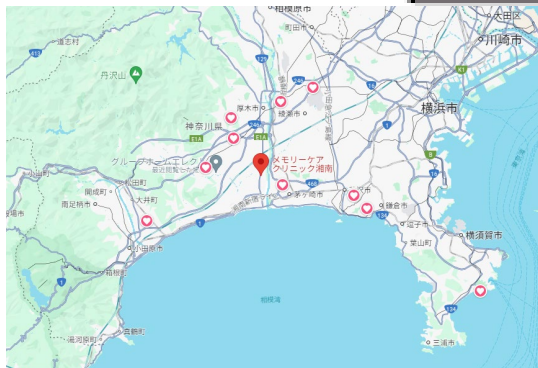
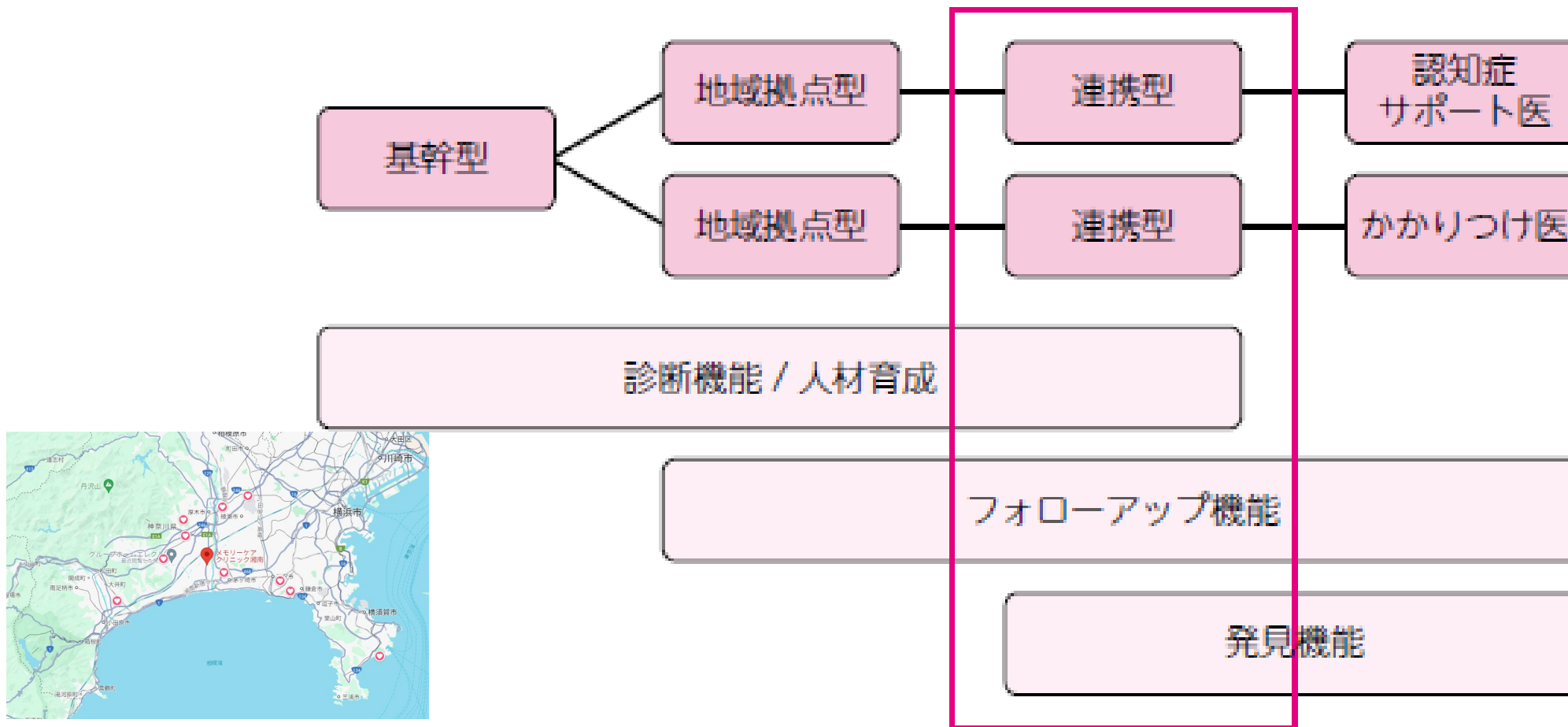
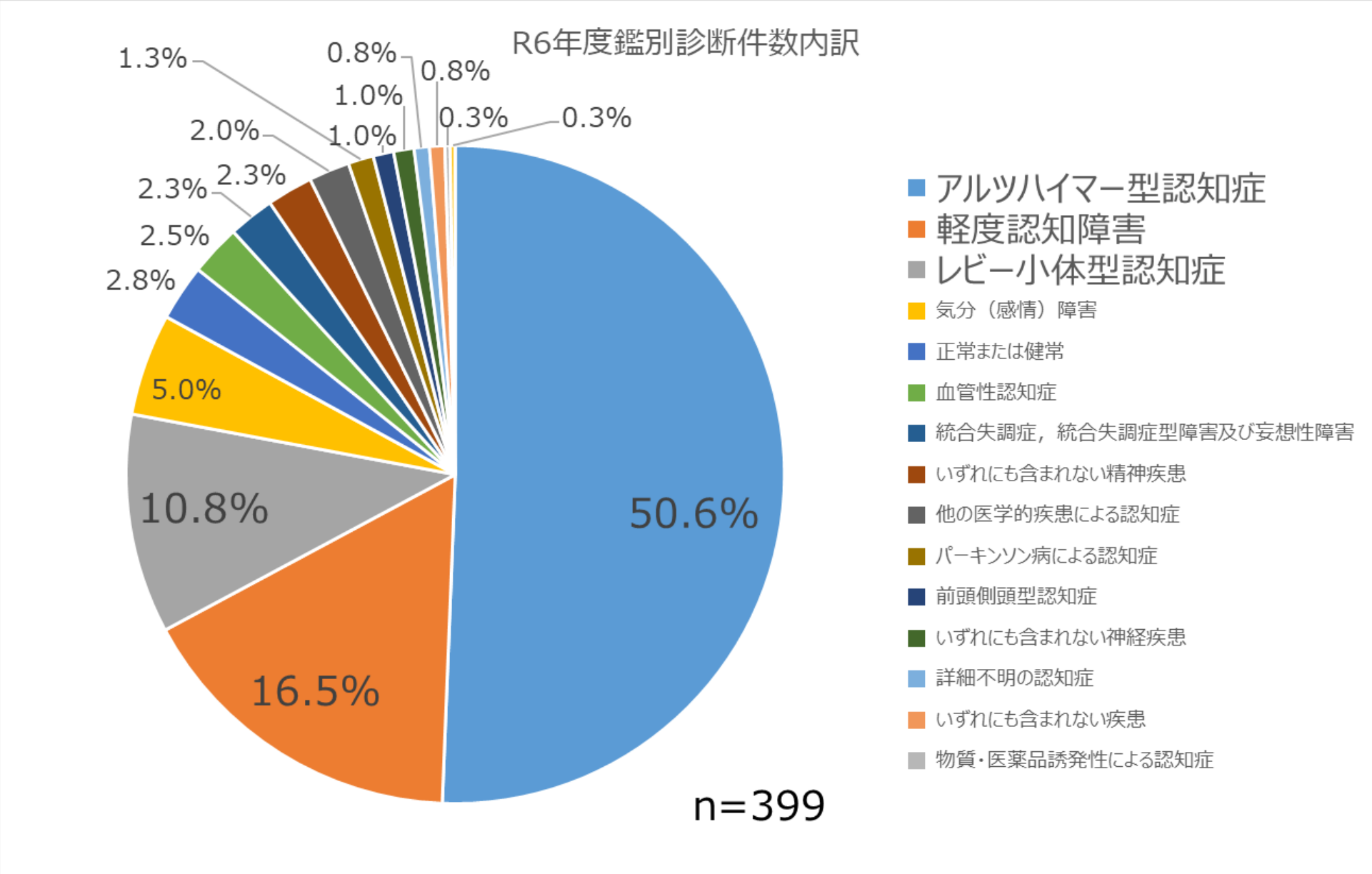


図4 連携型認知症疾患医療センター

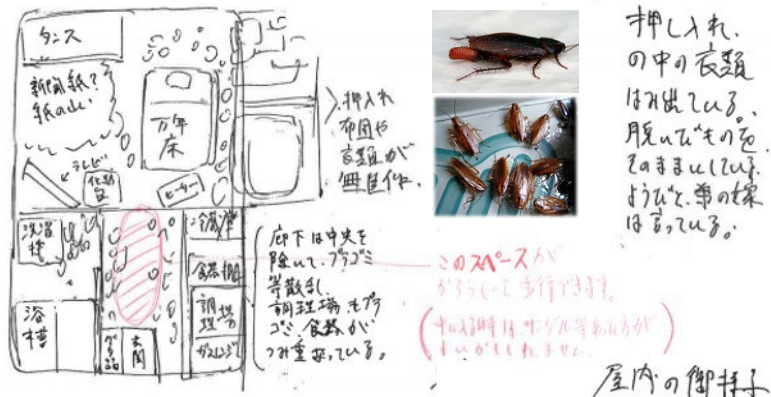
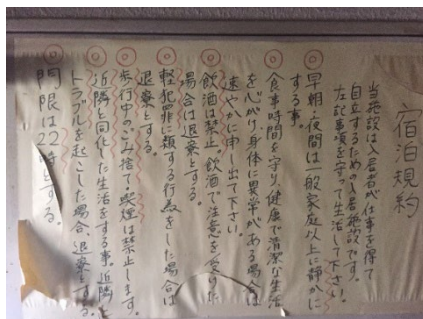
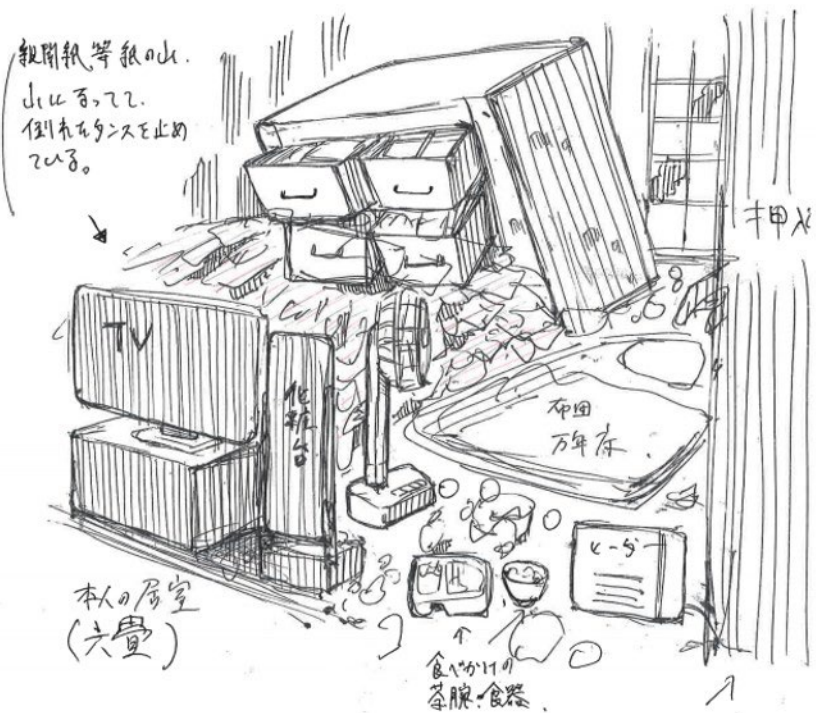
当院連携型認知症疾患医療センターの診療統計



認知症初期集中支援チーム

診療体制と行政連携

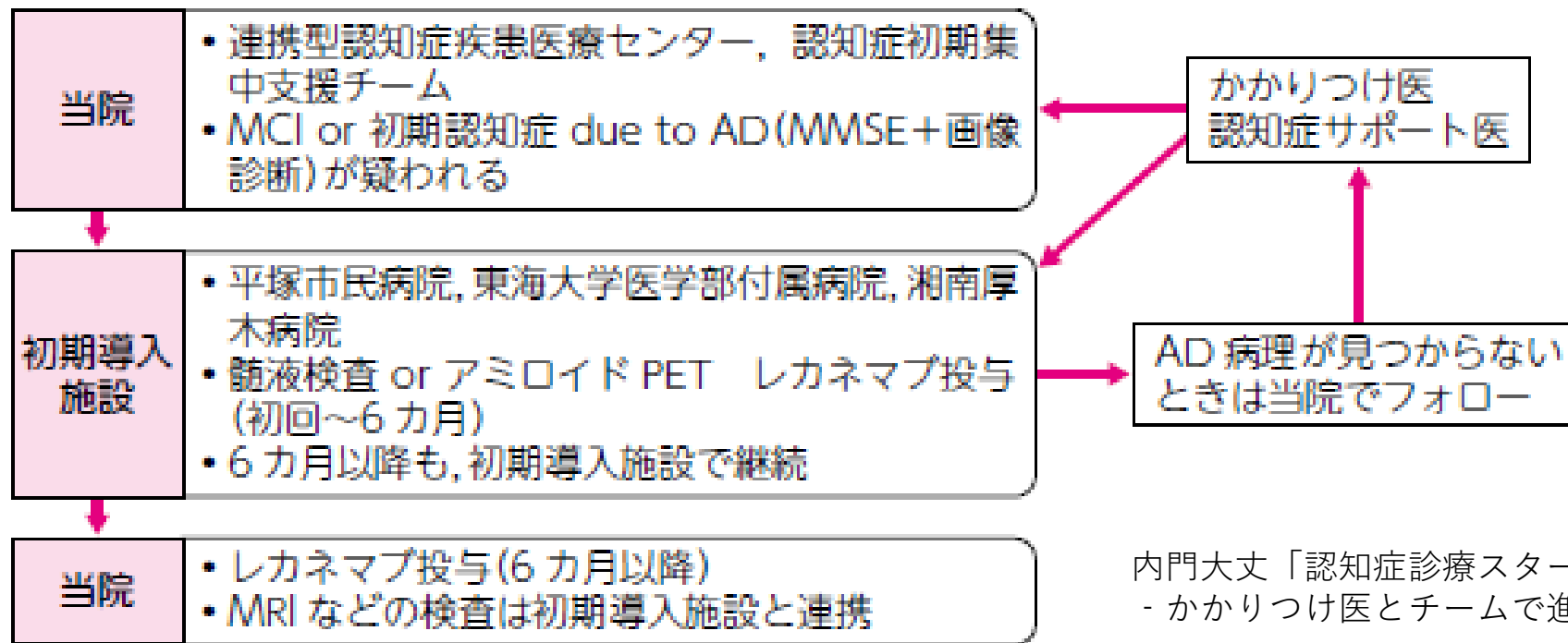
80代男性 認知症(不明) 糞尿まみれ 20日で入院



押し入れの中の衣類は汚れている。服の匂いも、ゴミも臭い。ゴミも散らばっている。

80代女性 発達障害+認知症 ゴキブリなどの昆虫、虫よけは必須

HIRATSUKAモデル： 市内のかかりつけ医にひろげていく



内門大丈「認知症診療スタートブック
- かかりつけ医とチームで進める現場の実践 -」中外医学社、2025年

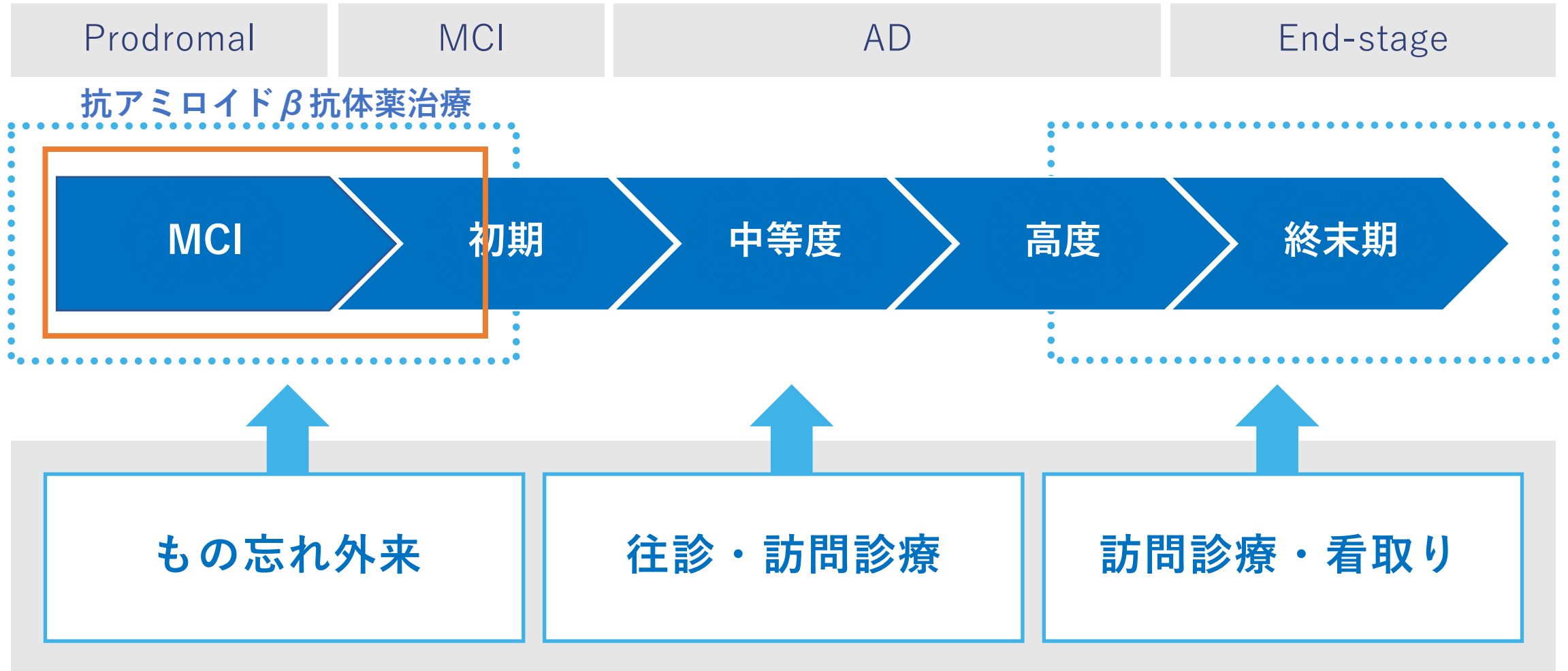
図5 HIRATSUKA モデル (抗アミロイドβ抗体薬の連携モデル)

※ササエルは医療機器ではありません。疾病の予防・診断目的には使用できません。

- ※ 市内には、フォローアップ施設は2か所しかない
- ※ 初期導入施設、フォローアップ施設担当医とは、連携型認知症疾患医療センターで定期的に行う「認知症サポート医連携会議」で顔の見える関係を構築する

抗アミロイドβ抗体薬治療は通過点

ADの長いプロセスを考えると抗アミロイドβ抗体薬治療は一時期のアプローチでしかない
初期導入施設、フォローアップ施設と連携することで自院の機能を拡張する視点が必要



HIRATSUKAモデル：抗A β 抗体治療から包括的認知症予防・連携へ

医療機関・行政・多職種の協働による地域モデル

【HIRATSUKAモデルの出発点】

抗アミロイド β 抗体薬導入のための連携モデル
かかりつけ医 \Leftrightarrow 専門医 \Leftrightarrow 行政
治療導入～フォローアップの地域体制

【HIRATSUKAモデルの進化】

一次予防（発症予防）：地域で育む認知症予防のライフスタイル
生活習慣病管理・運動・睡眠・食事・社会参加

二次予防（早期発見・早期治療）：抗アミロイド β 抗体薬連携モデル
MCIスクリーニング・認知症初期集中支援チーム・かかりつけ医の役割

三次予防（重症化予防・支援）
在宅医療・多職種連携・認知症カフェ・終末期ケアから看取り

一次予防

出発点

三次予防

平塚市での街づくり

- 「SHIGETAハウス」「音楽ひろば」「エシカルスタジオ」などの活動
- 「認知症カフェ」と「認知症の人と家族の一体的支援プログラム」
- 「湘南健康大学」「レディオ湘南」による住民への啓発
- 「湘南ストリートメディカル」：横浜市大CDCとのコラボ

認知症月間特別企画

共に歩む希望の輪 認知症を知ろう!

ひらつカオレンジフェス

2025年9月20日(土) 11:00~16:30 入場無料

平塚市中央公民館 大ホールロビー

SHONAN ORANGE PLAN
- Dementia friendly community in Kanagawa, Japan -

Kanami Oka1, Hirofumi Onoz, Miho Kondō2, Hirotake Uchikado1
1Shonan Haba Clinic, 2Shonan Kenko Daijuku, Kanagawa, Japan

Shonan, Japan

軽度認知障害早期発見ゲームの開発

Naohiro Murata, Hirotake Uchikado, Takanori Takebe, et al. A Gamified N-back App for Identifying Mild-cognitive Impairment in Older Adults. JMA J. 2025 Jan 15;8(1):174-182.

湘南ストリートメディカル実装例

速歩を促すフロアシート @茅ヶ崎公園うみかぜテラス

未病概念の認知を広めるシニアド @109シネマズ湘南

地下鉄で線内障啓発 @湘南台-あざみ野駅南

医療・介護・市民 全国ネットワーク

イネープリングシティ 構想発表 @平塚プレジール

認知症の備えを地域で育むーHIRATSUKAモデルの実践ー まとめ

- **当院の特徴**

外来＋在宅医療、多職種連携、地域資源との協働

- **HIRATSUKAモデル**

循環型診療連携と情報共有、顔の見える関係づくり

- **多職種連携と住民参加による地域づくり**

HIRATSUKAモデルの深化